

第三十回俳人協会「東北俳句大会・秋田大会」成績

大会賞

小島 健特選

除雪車の一燈統ぶる朝まだき

山形 伊藤 厚子

切り出しの木の香を残し馬櫓行く

宮城 幸野 峰

みづうみの五月雨あをし昼の酒

福島 橋本 研二

伊東 肇特選

なまはげの野太き声は夫のこゑ

福島 古市 文子

ひとまはり大きく春の山と子と

宮城 遠藤 克子

耕してたがやして嬰を抱いて寝る

青森 小野 寿子

檜 紀代特選

足裏より家郷の鼓動青き踏む

秋田 和田 仁

撫林の風にさはだつ五月来ぬ

山形 三澤 カツコ

母の声しみたる絵本黴香る

秋田 遠藤 史都

染谷 秀雄特選

うるむ灯や母と一と夜の花の宿

秋田 最上 悦

ほととぎす影鳥海の裾に啼く

宮城 木村 螢雪子

編みたてのあをき竹籠夏きざす

岩手 二階堂 光江

土井 三乙特選

これはこれと彼岸の雪を掻きにけり

秋田 石川 あきら

雪に膝つきて鷹匠鷹放つ

山形 折原 廣子

とりあへず諾と答へて冷奴

青森 今田 とみを

浜田 しげる特選

耕してたがやして嬰を抱いて寝る

青森 小野 寿子

幾重にも水抱くやうに紙漉女

山形 横道 輝久子

母の日も一と日の母の仕舞風呂

青森 成田 政美

白濱 一羊特選

竿灯のいちど倒れて倒れ癖

秋田 佐藤 景心

昼告ぐる声滑りゆくぬなわ沼

秋田 伊藤 青砂

空港の国旗持ちたる雪だるま

山形 結城 トミ子

馬場 吉彦特選

薬缶のる茂吉旧居の夏火鉢
切つて知る蜜入り林檎寺山忌
穂孕みの稲に水張る原爆忌

坂内 佳禰特選

雪に膝つきて鷹匠鷹放つ
竜笛の漏れくる当屋雪月夜
未だ誰も潜らぬ茅の輪匂ひけり

小林 里子特選

郷倉は野に還り行く独活の花
幾重にも水抱くやうに紙漉女
未だ誰も潜らぬ茅の輪匂ひけり

鈴木 正子特選

なまはげの野太き声は夫のこゑ
囀や行くも戻るも渡し舟
父母に竿灯見せむ初任の地

黒坂 重政特選

天を蹴る赤児の力雲の峰
三寒へ摺り足返す能舞台
合歓咲くや空と溶け合ふ羽後の海

橋本 研二特選

袋掛く空の青さを包みては
切り出しの木の香を残し馬槌行く
神の言葉子に宿るらし星涼し

横山 節哉特選

かまくらの招くわらべの訛りかな
小鳥来る小坂芝居の木戸口に
三代の読み継ぐ絵本銀河濃し

山崎雅葉特選

水草生ふ濁りし水の力得て
人よりも犬猫愛し万愚節
心経に始まる春の念珠廻し

佐々木 踏青子特選

涅槃図の余白の滲み泪とも
散りてまた姿を隠す山桜
海光を掬ふ鷗のうららけし

山形 小室 けい子

宮城 伊藤 一男

宮城 伊藤 一男

山形 折原 廣子

山形 伊藤 厚子

秋田 山内 誠子

山形 庄司 玲子

山形 横道 輝久子

秋田 山内 誠子

福島 古市 文子

岩手 篠村 恵美子

青森 小林 とみ

秋田 和田 仁

山形 伊藤 厚子

福島 佐久間 晃祥

秋田 園部 露郷

宮城 幸野 峰

岩手 菅原 信子

秋田 工藤 進

宮城 江戸 裕子

青森 安田 真知子

青森 小野 寿子

秋田 佐々木 踏青子

福島 葉貫 琢良

山形 横道 輝久子

山形 松尾 正夫

秋田 最上 悦

当日投句大会賞

森岡正作特選

牛飼の牛にも序列牧の秋

秋田 佐々木 公平

身にしむや母につくうそひとつ増え

秋田 鈴木 アヤ子

羽前羽後分けて鳥海天高し

宮城 小泉 三雄

森岡正作入選

薄闇に蹴出し溶けゆくをどりかな

秋田 神成 石男

銀河夜々濃くなるを見て果樹番す

秋田 園部 露郷

色鳥の潜んでをりぬ一位の実

秋田 高橋 秋水

古里に母の醸せる一夜酒

秋田 山崎 雅葉

雄物川秋日を吸ふて海に吐く

岩手 砂金 文昭

青つ洩の昭和のこどもラムネ抜く

秋田 種村 聖巴子

俊足の風鬼の子の宙返り

秋田 田村 陽子

五能線ときをり海へ花芒

山形 鈴木 正子

藁耳をぶつけて好きになりにつけり

宮城 鶴岡 行馬

蜻蛉来る史跡ガイドの指の先

青森 郡川 宏一

小野寿子特選

青いのが豆白いのが蕎麦畑

山形 伊藤 寛

及川茂登子特選

落し水集めて海へ雄物川

福島 橋本 研二

伊藤 寛特選

ぶつかつてきさう白神の夏燕

福島 古市 文子

鶴岡 行馬特選

羽前羽後分けて鳥海天高し

宮城 小泉 三雄

古市 文子特選

杭残るだけの廃村虫時雨

秋田 加瀬谷 敏子

伊藤 青砂特選

水音を集めて蓮の実となれり

宮城 山田 史子

斎藤 淳子特選

羽前羽後分けて鳥海天高し

宮城 小泉 三雄